

## 〈 セミナーのご案内 〉

● 今回配布先を限定しておりますので、関係各位へのご覧につき、ご高配をお願いいたします。

回					
覧					

高等教育活性化シリーズ 180 (通算 489 回)

2011 年 3 月 5 日 (土)

新パラダイムと対応シナリオ——

## 転換期の大学院教育と教学・経営の深化

高等教育活性化シリーズ 181 (通算 490 回)

2011 年 3 月 6 日 (日)

新パラダイムと対応シナリオ——

## 学士課程教育の新展開と教学・経営の深化

新パラダイムと対応シナリオ——

## 転換期の大学院教育と教学・経営の深化

～第 5 期中教審大学分科会大学院部会の審議経過・答申を踏まえて～

- ※ グローバル化社会の人材ニーズと大学院教育／大学院答申の要点／企業との谷間を越えて
- ※ 高度な「専門職」の教育機関に／3つのポリシーに基づく大学院教育／機能分化へのシナリオ
- ※ 地方圏大学院の教学・経営の新展開／教育の実質化と改善／連合・連携方式による教育協働

● 講師陣 ●

〈中教審は第 5 期〉

- 有信 睦弘 氏 / (国) 東京大学 監事、前(株)東芝 顧問  
中教審 大学分科会 臨時委員 大学院部会 部会長
- 川嶋太津夫 氏 / (国) 神戸大学 大学教育推進機構 教授  
中教審 大学分科会 専門委員  
大学院部会 専門職学位課程ワーキンググループ 専門委員
- 丸本 卓哉 氏 / (国) 山口大学 学長  
中教審 大学分科会 臨時委員 大学院部会 臨時委員

2011 年 3 月 5 日 (土) 剛堂会館 (明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)

新パラダイムと対応シナリオ——

## 学士課程教育の新展開と教学・経営の深化

～第 5 期中教審大学分科会の審議結果を踏まえて～

- ※ 大学の機能別分化／適正規模と経営課題／継続教育の停滞と要因／政策対応の可能性と限界
- ※ 学位プログラム・分野別評価／機能別分化の促進／情報公表と質保証／新パラダイムを拓く
- ※ “独断と偏見” に基づく論点整理／公的質保証と評価の将来／機能別評価とファンディング

● 講師陣 ●

〈中教審は第 5 期〉

- 金子 元久 氏 / (独) 国立大学財務・経営センター 教授 研究部長  
前東京大学教育学部長・研究科長  
中教審 大学分科会 大学規模・大学経営部会 部会長
- 黒田 壽二 氏 / (学) 金沢工業大学 学園長・総長  
中教審 大学分科会 質保証システム部会 部会長
- 荻上 紘一 氏 / (独) 大学評価・学位授与機構 教授  
中教審 大学分科会 副分科会長

2011 年 3 月 6 日 (日) 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)



[ 参加要領 ]

日時 : 高等教育活性化シリーズ 180 転換期の大学院教育と教学・経営の深化  
2011年3月5日(土) 10:30~16:40

会場 : 剛堂会館(明治薬科大学) 会議室 (東京・麹町)  
千代田区紀尾井町 3-27 TEL 03-3234-7362

(東京メトロ有楽町線「麹町駅」1番出口より徒歩4分、またはJR中央・総武線「四ツ谷駅」麹町口より徒歩10分)

日時 : 高等教育活性化シリーズ 181 学士課程教育の新展開と教学・経営の深化  
2011年3月6日(日) 10:00~16:40

会場 : 日本教育会館 会議室 (東京・神保町)  
千代田区一ツ橋 2-6-2 TEL 03-3230-2833

(東京メトロ半蔵門線・都営新宿線/「神保町駅」A1番出口より徒歩3分 <http://www.jec.or.jp/koutuu/>)

参加費	ご一名 (資料代を含む)	メディア参加 (資料及び音声 CD 送付)
高等教育活性化シリーズ 180 転換期の大学院教育と教学・経営の深化	41,000 円 (消費税込)	42,000 円(送料、消費税込)
高等教育活性化シリーズ 181 学士課程教育の新展開と教学・経営の深化	40,000 円 (消費税込)	41,000 円(送料、消費税込)

※参加費の払い戻しは致しません。申込者のご都合が悪いときには、代理の方がご出席ください。

申込方法 : 参加申込書に所要事項を記入のうえ FAX または Email にてご送付ください。  
受講証と会場地図を送付しますので必ずご確認ください。

支払方法 : 銀行振込・郵便振替・当日払いがあります。

みずほ銀行麹町支店 普通 1159880 三菱東京 UFJ 銀行神田支店 普通 5829767

三井住友銀行麹町支店 普通 7411658 \*郵便振替: 00110-8-81660

すべての口座名 (株)地域科学研究会

(ご請求なき場合は振込受領書を領収書に代えさせていただきます)

インターネットでのご案内は⇒ <http://www.chiikikagaku-k.co.jp/> E-mail: [kkj@chiikikagaku-k.co.jp](mailto:kkj@chiikikagaku-k.co.jp)

お申込み・お問合せ

地域科学研究会  
高等教育情報センター

東京都千代田区一番町 6-4 ライオンズ第 2-106  
TEL 03(3234)1231 FAX 03(3234)4993

キリトリ線(※参加申込みの折は必ずお送りください)

研修会参加申込書

2011年 月 日

■ 高等教育活性化シリーズ 180 転換期の大学院教育と教学・経営の深化

当日参加  メディア参加

■ 高等教育活性化シリーズ 181 学士課程教育の新展開と教学・経営の深化

当日参加  メディア参加

(□に✓印を入れてください)

勤務先

連絡部課・担当者名

所在地 〒

メールアドレス

TEL

FAX

連絡部課・担当者

参加者氏名	所属部課役職名	メールアドレス

(通信欄) 支払方法(□郵便振替 □当日払い □銀行振込) 必要書類(□請求書 □見積書)

※この個人情報は、本セミナーの一連の業務及び今後のご案内に使用させていただきます。

時間	講義項目
10:30 〃 12:30	<p>□ <b>グローバル化社会の大学院教育</b>                      ～大学(院)と企業の谷間を超えて～</p> <p style="text-align: right;">東京大学 <b>有信 睦弘</b></p> <p>1. <b>グローバル化と日本の卒業生の現状</b>                      (1) アジアの国々の変化 (2) 日本の状況                      (3) 日本の学生は</p> <p>2. <b>中央教育審議会の大学院教育の答申</b>                      (1) 大学分科会での審議 (2) 大学院部会の答申                      (3) 私立大学の健全な発展</p> <p>3. <b>企業と大学(院)の間の谷間は超えられないか</b>                      (1) 企業が求める人材 (2) 中小企業の状況は?                      (3) これからのイノベーションを担う人材は <span style="float: right;">〈質疑応答〉</span></p>
13:30 〃 15:00	<p>□ <b>国際的に通用し、社会から信頼される大学院教育へ</b></p> <p style="text-align: right;">神戸大学 <b>川嶋太津夫</b></p> <p>1. <b>制度先行の日本の高等教育改革</b>                      ・ 大学院大学 (2) 専門職大学院                      ・ 「設置基準」の問題</p> <p>2. <b>大学院を高度な「専門職」の教育機関に</b>                      ・ 古典的専門職(医師・法職・神職) (2) 学術専門職                      ・ 専門職団体の役割</p> <p>3. <b>3つのポリシーに基づく大学院教育の充実</b>                      ・ 明確な人材像と学習成果の確立                      ・ 構造的なプログラムの確立と体系的なカリキュラムの編成                      ・ 入学者選考の抜本的改革</p> <p>4. <b>「学生」のための大学院教育へ：機能分化への道と課題</b>                      ・ 「量」から「質」への転換 (2) 学位「水準」枠組の確立 <span style="float: right;">〈質疑応答〉</span></p>
15:10 〃 16:40	<p>□ <b>地方圏大学院の教学・経営の新展開</b>                      ～地方国立大学の現状と改善に対する取り組み～</p> <p style="text-align: right;">山口大学 <b>丸本 卓哉</b></p> <p>1. <b>従来の大学院教育の課題</b>                      (1) 教授による個人指導 (2) アカデミックハラスメント                      (3) キャリアパス</p> <p>2. <b>大学院教育の実質化と改善方向</b>                      (1) 学位プログラムの確立 (2) 集団指導体制による教育の質保証                      (3) 連合・連携方式による教育協働の展開 (4) グローバルに活躍できる能力の獲得</p> <p>3. <b>大学院の現状と改善に対する取り組み</b>                      (1) 大学院入学者数の変化 (2) 入学定員数の調整                      (3) キャリアパスの改善と充実 <span style="float: right;">〈質疑応答〉</span></p>

時間	講義項目
10:00 12:00	<p>□ 大学の機能別分化と学士課程教育の規模・経営                      ～「大学規模・大学経営部会」の審議結果と今後への論点整理～                      国立大学財務・経営センター 金子 元久</p> <p>1. 高等教育の「適正規模」                      (1) 進学率は「適正」か (2) 大卒者の雇用構造                      (3) 継続教育の停滞とその要因</p> <p>2. 高等教育のリストラクチャリング                      (1) 大学教育機会の需給ギャップ (2) 政策的対応の可能性と限界                      (3) 情報公開の意味</p> <p>3. 大学経営の課題                      (1) 新しい産業構造と大学教育 (2) 選択的機能強化                      (3) 大学経営の課題</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
13:00 15:00	<p>□ 学位プログラム・分野別評価と質保証の新パラダイム                      ～「質保証システム部会」の審議結果と今後への論点整理～                      金沢工業大学 黒田 壽二</p> <p>1. 大学教育改革の必要性                      ・ 大学教育改革に向けた外的要因～国内的事情、国際的事情                      ・ 個の自立と創作力、社会活動のダイナミズム</p> <p>2. 大学の機能別分化促進と大学教育の質の保証                      ・ 大学とは、機能分化することの意義と大学としての質保証                      ・ 公的質保証システム～設置認可、設置審査、認証評価                      ・ 認証評価の在り方、大学基礎基準(学校教育法、大学設置基準等)評価と達成度評価                      ・ 自己点検・評価の実質化、PDCAサイクルの確立が認証評価の基礎</p> <p>3. 学部教育を学士課程教育の構築で機能分化とその質を保証                      ・ 学位に着目した体系的・一貫性ある教育プログラムの確立                      ・ 学位授与の方針～厳格な成績評価、卒業要件の明示                      ・ 教育課程編成・実施方針                      ・ FD、SD 活動による教育の質向上                      ・ 入学者受入の方針～受入方針の明確化</p> <p>4. 教育情報の公表による教育の可視化                      ・ 何をどのように公表すべきか、受験生は何を必要としているか、社会は何を知りたいか                      ・ 義務化された教育情報の開示、国際的通用性ある公表のあり方</p> <p>5. 大学のグローバル社会への対応                      ・ 大学院教育の実質化を図り、修士、博士の学位の国際的通用性                      ・ 働きながら学べるシステム創りを、再学習を容易に、社会人の受入、留学生の受入</p> <p>6. まとめ～新パラダイムを拓く                      ・ ミッションの確立と教育方針・目的の精査を!!                      ・ 機能分化の促進により、個性と特色を持った大学に!!                      ・ グローバル社会で活躍できる大学に!                      ・ 地域社会をリードする大学に!!                      ・ 正確な教育・研究情報開示、発信で社会の信頼を得よう!!</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>
15:10 16:40	<p>□ 「大学分科会」の審議結果と今後への論点整理                      ～独断と偏見に基づく解説～                      大学評価・学位授与機構 荻上 紘一</p> <p>1. 教育の質の保証・向上                      (1) 「組織主義」から「プログラム主義」へ (2) 設置基準、設置認可・届出は課題が一杯!                      (3) 「大学教育のグローバル化」への対応 (4) 教育情報の公表と教育の質の保証・向上                      (5) 「履修主義」から「修得主義」へ                      (6) 認証評価の第2クール、そして高等教育評価の将来</p> <p>2. 大学の機能別分化と大学間連携の促進                      (1) 「機能別分化」は進んでいるか (2) 機能別分化に対応した評価とファンディング                      (3) 大学間連携とは</p> <p>3. 教育研究機能の充実のための組織・経営の基盤強化                      (1) 大学教育の受益者は、学習者個人だけでなく、現在・将来の社会                      (2) 諸外国と比較し、学生個人の経済負担割合が大きい                      (3) 学生・留学生支援のファンディング (4) 「年齢主義」からの脱却</p> <p style="text-align: right;">〈質疑応答〉</p>